

安全データシート

改訂日: 2022年8月23日

|   |  |
|---|--|
| <p>1. 製品及び会社情報<br/>                 化学品の名称<br/>                 推奨用途<br/>                 会社名<br/>                     住所<br/>                     電話番号</p> <p>整理番号</p>   | <p>しゅう酸鉄(Ⅱ)二水和物<br/>                 試験研究用<br/>                 米山薬品工業株式会社<br/>                 大阪市中央区道修町2丁目3番11号<br/>                 (06)6231-3555(大阪・本社)<br/>                 (03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)<br/>                 (052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)<br/>                 CB1789</p>   |
| <p>2. 危険有害性の要約<br/>                 GHS分類<br/>                 ラベル要素<br/>                     絵表示又はシンボル<br/>                     注意喚起語<br/>                     危険有害性情報<br/>                     注意書き</p>   | <p>分類の基準に該当しない</p> <p>なし<br/>                 なし<br/>                 なし<br/>                 なし</p>   |
| <p>3. 組成、成分情報<br/>                 化学物質・混合物の区別<br/>                     化学名<br/>                     別名<br/>                     化学式<br/>                     化学物質を特定できる一般的な番号<br/>                     含有量<br/>                     官報公示整理番号(化審法、安衛法)<br/>                     その他</p> | <p>化学物質<br/>                 しゅう酸鉄(Ⅱ)二水和物<br/>                 しゅう酸第一鉄二水和物<br/> <math>FeC_2O_4 \cdot H_2O</math><br/>                 CAS RN: 6047-25-2<br/>                 95%以上<br/>                 (2)-845 / 公表<br/>                 該当情報なし</p>   |
| <p>4. 応急措置<br/>                 吸入した場合</p> <p>皮膚に付着した場合</p> <p>眼に入った場合</p> <p>飲み込んだ場合</p>   | <p>被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。<br/>                 気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。</p> <p>多量の水と石鹼で洗うこと。<br/>                 皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。<br/>                 汚染された衣類を脱ぐこと。</p> <p>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。<br/>                 その後も洗浄を続けること。</p> <p>眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。<br/>                 口をすすぐこと。<br/>                 医師の手当、診断を受けること。</p>  |
| <p>5. 火災時の措置<br/>                 適切な消火剤<br/>                 使ってはならない消火剤<br/>                 特有の危険有害性<br/>                 特有の消火方法</p> <p>消火を行う者の保護</p>   | <p>本製品は不燃性である。周辺火災に適応した消火剤を用いる。<br/>                 棒状放水<br/>                 火災時に有毒なガスを発生するおそれがある。<br/>                 危険でなければ火災区域から容器を移動する。<br/>                 移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。<br/>                 消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。<br/>                 消火作業の際は、空気呼吸器を含め適切な防護服(耐熱性)を着用する。</p>  |
| <p>6. 漏出時の措置<br/>                 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p> <p>環境に対する注意事項<br/>                 封じ込め及び浄化の方法及び機材</p>  | <p>作業者は適切な保護具を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。<br/>                 漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。<br/>                 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。<br/>                 関係者以外の立入りを禁止する。<br/>                 風上から作業して、風下の人を退避させる。<br/>                 密閉された場所に立入る前に換気する。<br/>                 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。<br/>                 漏洩物を掃き集めて空容器に回収し、後で廃棄処理する。<br/>                 水で湿らせ、空気中のダストを減らし分散を防ぐ。<br/>                 プラスチックシートで覆いをし、散乱を防ぐ。</p> |
| <p>7. 取扱い及び保管上の注意<br/>                 取扱い<br/>                     技術的対策(局所排気、全体換気等)</p> <p>安全取扱注意事項</p> <p>接触回避</p>   | <p>目、皮膚及び衣類に触れないように適切な保護用具を着用する。<br/>                 取り扱い場所には局所排気装置を設置する。<br/>                 眼に入れないこと。<br/>                 飲み込みを避けること。<br/>                 皮膚との接触を避けること。<br/>                 粉じん、蒸気、スプレーの吸入を避けること。<br/>                 漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させないこと。<br/>                 使用後は容器を密封する。<br/>                 熱、火花、裸火のような着火源、混触危険物質</p>   |

|  |  |
|--|--|
| 衛生対策   | この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。<br>取扱い後はよく手を洗うこと。  |
| 保管<br>安全な保管条件                                  | 熱、火花、裸火のような着火源から離して保管すること。一禁煙。<br>施錠して保管する。<br>冷所、換気の良い場所で保管すること。<br>容器を密閉して保管すること。<br>毒劇法で規定されている容器を使用する。 |
| 容器包装材料   |  |
| 8. 暴露防止及び保護措置                                  |  |
| 許容濃度<br>管理濃度<br>日本産業衛生学会<br>ACGIH              | 未設定<br>未設定<br>未設定  |
| 設備対策   | この物質を貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。<br>作業場には全体換気装置、局所排気装置を設置すること。  |
| 保護具<br>呼吸器の保護具<br>手の保護具<br>眼の保護具<br>皮膚及び身体の保護具 | 適切な呼吸器保護具を着用すること。<br>適切な保護手袋を着用すること。<br>適切な眼の保護具を着用すること。<br>適切な保護衣を着用すること。                                 |
| 9. 物理的及び化学的性質                                  |  |
| 物理状態   | 粉末   |
| 色  | 黄色   |
| 臭い   | 無臭   |
| 融点/凝固点   | 160°Cで分解   |
| 沸点又は初留点及び沸点範囲                                  | 該当情報なし   |
| 燃焼性  | 不燃性  |
| 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界                              | 該当情報なし   |
| 引火点  | 不燃性  |
| 自然発火温度   | 不燃性  |
| 分解温度   | 160°C  |
| pH   | 該当情報なし   |
| 動粘性率(粘度)                                       | 該当情報なし   |
| 溶解度  | 水に難溶(冷水:0.022g/100g, 熱水:0.026g/100g)   |
| n-オクタノール/水分配係数                                 | 該当情報なし   |
| 蒸気圧  | 該当情報なし   |
| 密度及び/又は相対密度                                    | 2.28   |
| 相対ガス密度   | 該当情報なし   |
| 蒸発速度(酢酸ブチル=1)                                  | 該当情報なし   |
| 10. 安定性及び反応性                                   |  |
| 反応性、化学的安定性<br>危険有害反応可能性                        | 通常の取扱いにおいて安定である。<br>空気中で160°Cで分解する。空気を絶って加熱すると一酸化炭素と二酸化炭素とを発生して分解し、発火性の酸化鉄(Ⅱ)を残す。                          |
| 避けるべき条件<br>混触危険物質<br>危険有害な分解生成物                | 熱<br>強酸化剤<br>一酸化炭素, 二酸化炭素, 酸化鉄   |
| 11. 有害性情報                                      |  |
| 急性毒性   | 経口: データなし<br>経皮: データなし<br>吸入: データなし<br>(粉塵)  |
| 皮膚腐食性及び皮膚刺激性                                   | データなし。なお、しゅう酸(化学物質を特定できる一般的な番号.144-62-7)に準じて皮膚刺激性を示す可能性がある。  |
| 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性                              | データなし。なお、しゅう酸(CASRN.144-62-7)に準じて眼刺激性を示す可能性がある。  |
| 呼吸器感作性又は皮膚感作性                                  | 呼吸器: データなし<br>皮膚: データなし  |
| 生殖細胞変異原性<br>発がん性<br>生殖毒性                       | データなし<br>データなし<br>データなし  |
| 特定標的臓器毒性(単回暴露)                                 | データなし。なお、しゅう酸(化学物質を特定できる一般的な番号.144-62-7)に準じて気道刺激性を示す可能性がある。  |
| 特定標的臓器毒性(反復暴露)                                 | データなし。なお、しゅう酸(化学物質を特定できる一般的な番号.144-62-7)に準じて腎臓に影響を示す可能性がある。  |
| 誤えん有害性   | データなし  |
| 12. 環境影響情報                                     |  |
| 生態毒性   | 短期: 該当情報なし。<br>(急性)<br>長期: 該当情報なし。<br>(慢性)   |
| 残留性・分解性<br>生体蓄積性                               | 該当情報なし。<br>該当情報なし。   |

|  |   |
|--|---|
| <p>土壤中の移動性<br/>オゾン層への有害性</p>   | <p>該当情報なし。<br/>当該物質はモントリオール議定書の附属書に列記されていない。</p>  |
| <p>13. 廃棄上の注意<br/>残余廃棄物</p> <p>汚染容器及び包装</p>  | <p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。<br/>都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。<br/>廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。<br/>容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。<br/>空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>   |
| <p>14. 輸送上の注意<br/>国連番号</p> <p>品名(国連輸送名)</p> <p>国連分類</p> <p>容器等級</p> <p>輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策</p> <p>国内規制がある場合の規制情報</p> <p>陸上輸送</p> <p>海上輸送</p> <p>航空輸送</p> <p>応急措置指針番号</p> | <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>食品や飼料と一緒に輸送してはならない。<br/>輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。<br/>重量物を上積みしない。</p> <p>消防法の規定に従う。<br/>船舶安全法の規定に従う。<br/>航空法の規定に従う。</p> <p>—</p>  |
| <p>15. 適用法令<br/>化学物質管理促進法(PRTR法)</p> <p>毒物及び劇物取締法</p> <p>消防法</p> <p>労働安全衛生法</p> <p>水質汚濁防止法</p>   | <p>指定化学物質に該当しない。<br/>劇物<br/>危険物に該当しない。<br/>名称等を表示し、又は通知すべき有害物〔施行令別表9〕に該当しない。<br/>指定物質</p>   |
| <p>16. その他の情報<br/>参考文献</p>   | <p>NITE-CHRIP(製品評価技術基盤機構HP)<br/>職場のあんぜんサイト(厚労省HP)<br/>NITE-GHS分類結果(製品評価技術基盤機構HP)<br/>The Sigma-Aldrich Library of Chemical Safety Data Edition II<br/>化学大辞典(共立出版)</p> <p>記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。</p> |